

子ども伝統文化教室2016～ふれあい囲碁教室～

実績報告書
Vol.5

【主催 TOSS 南国港 free-way 子ども伝統文化教室実行委員会】

平成 28 年度文化庁伝統文化親子教室事業

2016 年 1 2 月 5 日 発行



大人も真剣！いえ
いえ、大人が真剣
かもしれません。

2016年12月3日(土) 十時より、子ども伝統文化教室2016ふれあい囲碁教室第2回目を開催いたしました。

「ふれあい囲碁」は、囲碁将棋士である安田泰敏氏が、中学生のいじめ自殺の報道を契機に「ふれあい囲碁」活動をされたことで知られています。

本教室でも、その時の活動をモデルとしながら、囲碁の世界にたっぶり親しんでいただきました。

参加者は、前回に引き続き参加された児童1名に加え、3名の児童と地域の大人2名、計6名が参加していただき、事務局2名で、合計8名で盛り上がりました。地域に浸透するには、まだまだ時間が必要ですが、今後の取り組み方に向けて、価値ある活動として定着を図りたいと考えています。

ほのほの交流！みんなで笑った
「ふれあい囲碁」

■ふれあい囲碁とは

ふれあい囲碁は、文部科学省のホームページでも紹介されている楽しいゲームです。楽しくゲームをしながら良好な人間関係づくりを実現させる最適なツールです。全国各地で、ふれあい囲碁教室が開催され、普及が進んでいます。

■ふれあい囲碁の基本ルール

- 1 はじめに「自分の名前」を言う
- 2 「よろしくおねがいします」
- 3 じゃんけん
- 4 勝った人が「黒石」を持って先におく
- 5 黒白黒白・・・とおいていく
- 6 先に相手の石を囲んで取った人が勝ち
- 7 「ありがとうございました」



初めて参加した女の子。前回、参加していた名人に勝つことができてどうやらご満悦。

遊び方を理解し、いよいよ、個人戦が始まりました。お互いにルールを守り対戦します。

♡ あったかい短歌(親子詩)もできました♡

- 【連歌】 はじめての ふれあい囲碁が 楽しかった (子・山中はると)
白黒ごばん ほのほの交流 (地域の人・石川香織)
たのしいよ ふれあい囲碁で 負けました (子)
かんたんだった ふれあい囲碁で (子)
- 【定型】 わたしやる ふれあい囲碁で 勝つために (子・有加)
土曜日は ふれあい囲碁で 楽しいね (子・畠中しょう多)

■アンケートより
とても楽しかった 4人 100%

遊び方がよくわかった 4人 100%

(一言感想)
・また3連勝したい。
・ゲームが簡単だったしおもしろい思ったより。しょう多くんと本番で負けたけど、練習で勝ったのでうれしかったです。
・おもしろかった。

■2016年度の子どもの伝統文化教室(お抹茶体験・書道・ふれあい囲碁)は終了しました。のべ22名の子どもたちにご参加いただき、親子で地域の人と、ふれあいを楽しみました。ありがとうございました。2017年度の教室もどうぞよろしくお願いいたします。